

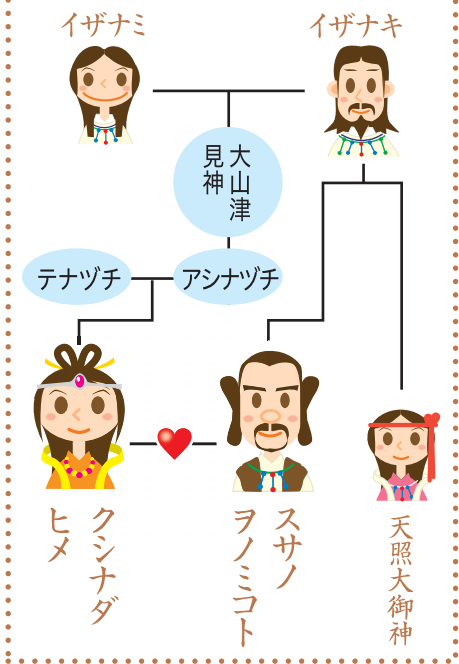
はじめての古事記

第4話



ヤマタノヲロチ

〈今回の登場人物〉



世界に光が戻った後、混乱の原
因を作ったスサノヲノミコトは高
天原から追放されました。
出雲国(現在の島根県)の斐伊
川にたどり着いたとき、年老いた
男女とその娘とに出会いました。
彼らは、八つの頭に八つの尾を持
つ巨大な蛇ヤマタノヲロチに毎年
一人ずつ娘が喰われることを嘆
き、泣いていたところでした。最後
の一人となったクシナダヒメを自
分の妻にすることを条件に、スサ
ノヲノミコトはヤマタノヲロチを
退治することを約束します。

山や谷が八つ重なったほどに巨
大な蛇を倒すために、濃く強い酒
を造り、垣根と門と棧敷を八つずつ
しつらえて、それぞれにたつぷりと
酒の入った槽を用意して待ち構え
ました。そこに現れたヤマタノヲロ
チは、八つの槽に八つの頭を入れて
酒を飲み、酔って寝てしまいました。
たすかさず、スサノヲノミコトは
剣を抜いてヤマタノヲロチを倒し
ます。その尾を切り裂くとすばらし
い大刀があつたので、取り出して天
照大御神に献上しました。これが
熱田神宮の神宝である草薙剣だと
伝えられています。

こうしてスサノヲノミコトはク
シナダヒメと結婚しました。須賀
の地に新居を建てて
「八雲立つ出雲八重垣妻籠み
に八重垣作るその八重垣を」と
日本最初の和歌を詠んだとい
うことです。
乱暴者が一転して英雄になるの
は、地上を平定する神の先祖とさ
れたからだといわれています。

(本文万葉文化館 井上さやか)

編集部の古事記コラム

今回のお話のように、蛇がで
てくる神話は世界中にあるよ
うです。

ギリシア神話には、9つの頭
を持つヒュドラーや、髪の毛が
蛇のメドゥーサ、北欧神話には
巨大な蛇のヨルムンガンド、イン
ド神話では、蛇と人が同化した
ようなナーガ、アステカ神話に
は羽根のある蛇という意味のケ
ツアルコアトルが登場します。

中でもヒツタイトの神話に登
場するイルヤンカシユという
蛇神は、泥酔している隙に倒さ
れるところが、ヤマタノヲロチ
の話に似ているそうです。

世界の神話には共通のルー
ツがあるのかも知れませんね。

クイズ

古事記ハカセへの道

先月の答え。

②島根県でした。

彼は結婚して

出雲国の須賀という地域に住んだ
と言われているよ。



今月の問題

Q スサノヲノミコトの子孫で、出雲国
を発展させたオクニヌシは
何人兄弟だったでしょうか？

- ① 5人兄弟の長男
- ② 16人兄妹の四男
- ③ 80人兄弟の末っ子

答えは来月号を見てね♪